令和7年度PDCAサイクル（RSTチーム）

P 計画

①一般病床における安全な人工呼吸器使用への教育
・RSTチームと救急・重症集中運営看護部会が協力し中堅看護師を対象にした人工呼吸器の安全な取り扱いを目的とした講義と実技の研修
②重症集中部門へのラウンドの実施（早期からサポートの開始）
・早期から特定看護師による看護介入や呼吸器内科、リハビリ科への受診促進に努め離脱への援助を実施する。HCUに続き今年度からICU・CCUに対しても、長期使用患者に対し一般病棟への移動を視野に入れた人工呼吸器への変更と病棟との連携を図る。
③NPPV・NHFなど非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの継続
・呼吸状態の重症化や再装着を予防する目的で早期から安全を目指した医師による指導と看護を継続する。

RSTラウンド数

R4年度	R5年度	R6年度
28	38	37

R6年機種別使用数

IPPV	6
NPPV	3
NHF	21

R6年度年間集計数

ラウンド患者数		30
ラウンド回数		37
加算対象患者数		1
転機	軽快	14
	死亡	12
	転院	5
	使用中	0
平均装着日数		26.7

D 実行

①一般病棟における安全な人工呼吸器使用への教育
・救急・重症集中運営看護部会と協力し、令和７年10月28日臨床工学技士による人工呼吸器勉強会（講義編）を開催し37名参加。11月14日人工呼吸器勉強会(実機操作編）をシミュレーションルームで12名を対象に実施
②重症集中部門へのラウンドの実施（早期からサポートの開始）
・ICU・CCU室長と相談し、令和7年5月から人工呼吸器長期使用患者に対して、一般病棟への移動を視野に入れた安全な呼吸管理を目的にラウンドを開始（ベラビスタ・AIRVO含む）
③NPPV・NHFなど非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの継続
・一般病床においては31件ラウンドを実施している。東9病棟のNHF・人工呼吸器が多い。
・他病棟から、コンサルテーションが多い。
④多職種との協働と現場での教育

RSTラウンド数

R5年度	R6年度	R7年度
38	37	86

R7機種別使用数

IPPV	21
NPPV	10
NHF	16

R6年度7年度集計数

		R6	R7
ラウンド患者数		30	47
ラウンド回数		37	86
加算対象患者数		1	5
転機	軽快	14	27
	死亡	12	12
	転院	5	8
	使用中	0	0
平均装着日数		26.7	14.8

C 評価

①一般病棟における安全な人工呼吸器使用への教育
参加者は、前年度より講義１０名・実技４名減少した（講義37名実技１２名）。他職種から中堅看護師に向けた教育を継続実施することで、患者や医療機器に対する安全管理に繋がる。呼吸器に触れて研修を実施するため知識に定着に繋がる。
②重症集中部門へのラウンドの実施（早期からサポートの開始）
令和7年5月よりICU・CCUのラウンドを開始した。呼吸状態や気道分泌物の評価・リハビリ内容の確認を実施し早期の離脱に向けた取り組みを実施している。患者の安定化と安全な医療・看護の提供に繋がっている。
③NPPV・NHFなど非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの継続
・一般病床においては31件ラウンドを実施している。東9病棟のNHF・人工呼吸器が多い。他病棟からは、コンサルテーションが多い。
④多職種との協働と現場での教育
・呼吸器内科医師2～３名・各リハビリ担当者・学生の見学参加などラウンドを通じて、ベッドサ

A 改善

①一般病棟における安全な人工呼吸器使用への教育継続
・一般病棟での人工呼吸器利用は、減少している。そのためにも、安全な使用・管理を目的として実技を中心とした教育にチームとして関わっていく。内容としては、オカレンス事例など参考にして安全管理を念頭に置いてかかわりも検討する
②コンサルテーション窓口の検討
・ラウンドが週１回であるため、トラブルや困りごとにタイムリーなかかわりができるようコンサルテーションの窓口を今後検討する必要あり。現在、気管カニューレの相談や皮膚トラブルについてなどラウンド日以外の相談あり
③重症集中部門・一般病棟のラウンドの継続
④多職種カンファレンスへの積極的参加
・転室や転院に向けた調整への助言や援助